

ひまわり在宅サポートグループ 大崎訪問看護ステーション

紺野 佳織 (居宅介護支援事業所 副所長)

功 績 副所長として新人所長を支え、営業基礎からスタッフケアまで幅広く補完してきた。経営の面では、特定事業所加算の体制整備や人員増強の提案を実行し、さらに自ら市役所へ働きかけ申請期限が過ぎている4月からの算定を可能にした。このチャレンジとスピードで事業所の成長に大きく貢献した功績。

推薦者氏名 ひまわり訪問看護ステーション 統括所長 阿部 まなみ

推薦理由 採用困難なケアマネ確保をスピード感ある行動で実現し、さらに自ら市役所へ働きかけ4月からの加算算定を可能にした。このチャレンジは体制強化と士気向上をもたらし、地域ニーズに応える基盤を築いた。今回のチャレンジとスピードは健育会が求めている姿であり理事長賞に相応しい。

内 容

紺野は、大崎ひまわり訪問看護ステーションに新人の所長が就任した際、ケアマネジャーでありながらも副所長として、前職で培ったマネジメント力を活かし、名刺交換や営業手法といった基礎から、看護スタッフのメンタルケアまで幅広く支援し、混乱なく運営を維持することに貢献してきた。また居宅介護支援事業所として、大崎市民病院連携室をはじめとする医療機関・包括支援センターとの連携を強化し、医療依存度の高いケースにも迅速に対応。その真摯な対応で地域からの信頼を高めながらも、経営視点から昨年度には特定事業所加算の算定体制を整備した。しかし3名体制では地域のニーズに応えきれない状況を踏まえ、また、上位区分の事業所加算算定に向けた取り組みとして人員増強を図ることを提案してきた。募集をしたところ人材確保が難しいと言われているケアマネジャーの応募が直ぐにあり採用に繋がった。しかし、3月下旬のため4月からの算定は難しいが、自ら市役所に相談しに行き、4月から算定できるように話をまとめてきた。その積極的な姿勢は他スタッフのモチベーション向上にも良い影響を与えており、今回のチャレンジとスピードが大崎訪問看護ステーション全体に良い結果をもたらした。